

第37回定例総会議事録

(議長 村田 雄穂)

2023年10月15日(日)札幌市・豊平館において第37回定例総会を開催し(出席者19人・委任状41通/会員数93人)、以下の議案について審議し、各議案とも過半数の賛成を得て議決されました。

[第1号議案]2023年度(2022.9-2023.8)活動報告について(ラファウ・ジェブカ)

1.《第36回定例総会&懇親会》豊平館、2022.10.30(日)総会15:00～(出席者20人、委任状49通、会員数99人)、懇親会17:00～(参加者44人、うちポーランド人・家族20人)

2.例会等

(1)《第102回例会》新作パフォーマンス「女は語る Mówi ONNA」by アマレヤ劇団&メノコモシモシ / 動画「アイヌとカムイのためのレクイエム Requiem dla Ajnu i Kamui」2021、札幌文化芸術劇場3F クリエイティブスタジオ2022.11.23(水)10:00～11:30(参加者約80人)

(2)《第103回例会》ポーランドのロマン主義とは何か～ポーランド・アイヌ『祖霊祭』夜明け前/シンヌラッパ・ケンネニサツ、2022.11.28(月)①13:30～15:00かでの2・7◆お話「ポーランド・アイヌ『祖霊祭』について」ヤドヴィガ・ロドヴィッチ=チェホフスカ◆講演「ポーランドのロマン主義～ミツキューヴィチ作『祖霊祭』の役割と意義」関口時正◆朗読『祖霊祭』第2部より:林家とんでん平②16:30～18:00シアターZOO、劇的朗読「ポーランド・アイヌ『祖霊祭』夜明け前/シンヌラッパ・クンネニサツ Dziady polsko-ajnujskie / Przedświt - sinnurappa-kunne nisat」作・芸術監督: J・ロドヴィッチ、出演:アイヌ女性会議メノコモシモシ&アマレヤ劇団(参加者①約40人、②約60人、両方に参加約20人)

(3)ポーランド名作映画ビデオ鑑賞&交流会2023、札幌エルプラザ①《第104回例会》『エロイカ Eroica』1958アンジェイ・ムンク Andrzej Munk 監督、2.20(月)18:30～(参加者:会員11人、一般12人)②《第106回例会》『イマジン Imagine』2012アンジェイ・ヤキモフスキ Andrzej Jakimowski 監督、3.13(月)18:30～(参加者:会員11人、一般12人)

(4)《第105回例会》(株式会社三菱 UFJ 銀行の寄付による)特別講演会「プロニスワフ・ピウスツキの遺したもの」①「プロニスワフ・ピウスツキが集めたアイヌの衣類」佐々木史郎②「ピウスツキが来たころと、その後の樺太アイヌの歩み」田村将人、札幌エルプラザ2023.3.4(土)18:30～21:00(参加者70人以上、うち会員14人)報告書 POLE1

10-2

(5)《第107回例会》創立35周年記念演奏会～シヨパンと華麗なるポーランド音楽、札幌コンサートホール Kitara 2023.6.3(土)18:30～(演奏者15人、挨拶・お話3人、来場者287人)

3.(1)会誌 POLE no.107(2022.9.1)、no.108(2023.1.20)、no.109(5.1)発行

(2)紙芝居「ブロニスワフ・ピウスツキ」ポーランド語/日本語版の印刷と寄贈

4.運営委員会

①2022.9.26 ②2023.3.20 ③7.17

5.後援事業等

(1)〈後援〉川染雅嗣ピアノリサイタル in アルテピアツツァ美唄 Vol.III 彫刻を聴く～石の声に耳を傾ける、共演:柘原享子、2022.9.10(土)

(2)〈後援〉鈴木飛鳥・坂田朋優ピアノデュオリサイタル、ザ・ルーテルホール2022.10.16(日)

(3)〈後援〉徳田貴子ミニピアノリサイタル～ガーシュウインの歌による超絶技巧練習曲を中心に Somebody Loves Me、札幌文化芸術交流センターSCARTS コート2022.11.28(月)

(4)〈協力〉プロニスワフ・ピウスツキ105回忌(献花、参加:安藤厚、氏間多伊子、尾形芳秀)、ウポポイ(民族共生象徴空間)記念像前、2023.5.17(水)

(5)〈後援〉井上あい子・高橋可奈子ジョイントリサイタル、ザ・ルーテルホール2023.8.20(日)

6.会員動向(2023年度)

入会3人、退会5人、逝去2人、
会員数94人(2023.9.1現在)

[第2号議案]2023年度収支決算報告および会計監査報告について(園部真幸・稲川和幸・嵩文彦)別紙参照

[第3号議案]2024年度(2023.9-2024.8)役員等(案)について(安藤厚)

(会則第6条に基づく役員)

新任

会 長:安藤厚

副会長:塚本智宏

運営委員:安藤むつみ、池田光良、氏間多伊子、小笠原正明、柏木由美子、北浦由花里、熊谷敬子、坂田朋優、霜田英麿、園部真幸、中島洋、アグニェシュカ・ポビワ、村田讓

事務局長:ラファウ・ジェブカ

監査委員:稲川和幸、嵩文彦

(会則第15条に基づく事務局、委員会等)
 事務局:(事務局長)ラファウ・ジェプカ、
 (副事務局長・会計)園部真幸、
 (催物)氏間多伊子、(同)熊谷敬子
 編集委員会:安藤厚、池田光良、氏間多伊子、
 熊谷敬子
 広報委員会:安藤厚
 (会則第16条に基づく東京事務所)
 (所長)霜田英麿、(副所長)熊倉ハリーナ
 [第4号議案]2024年度活動計画について(ラファウ・ジェプカ)

1.《第37回定例総会》&《第108回例会》第12回朗読会「午後のポエジア」豊平館2023.10.15(日) 総会1F 下の広間15:30～、午後のポエジア2F 広間17:30～

2.例会等
 (1)《第109回例会》特別講演会(トークショー)『カティンの森のヤニナ～独ソ戦の闇に消えた女性飛行士』(河出書房新社2023.3)～著者:小林文乃氏を迎えて/特別ゲスト:富田武成蹊大学名誉

教授、札幌エルプラザ4F 中研修室2023.11.5 (日)14:00～16:00

(2)〈後援〉日本ショパン協会北海道支部創立50周年記念コンサート～ショパンに魅せられて、札幌コンサートホール Kitara 小ホール2024.1.28 (日)14:30～

(3)DVD「Ainu | ひと」鑑賞会 2024.3～

(4)ワルシャワ蜂起博物館展覧会「ワルシャワ。灰の中から蘇る不死鳥」(2023.11.15～2024.2.5 広島)札幌 2024.5～

(5)午後のポエジア、名画ビデオ鑑賞会、ポーランドサロン等

(6)その他:後援・協力依頼には随時対応

3.会誌 POLE no.110 & 別冊(2023.9.1)、no.111(2024.1)、no.112(2024.5)発行

4.運営委員会:3-4回程度

5.オンライン広報(HP、Facebook等)の充実
 [第5号議案]2024年度予算(案)について(園部真幸)別紙参照
 [第6号議案]その他

2023年度 収支決算書 (自2022年9月1日～至2023年8月31日)

○一般会計

【収入の部】

(単位:円)

	決算	予算	増減	備考
会費	256,000	249,000	7,000	納入率3千円×98人×87%
寄付金	64,860	50,000	14,860	
雑収入	4,159	4	4,155	特) ポーランド・アイヌ祖霊祭より(4,154)、貯金利子(5)
小計	325,019	299,004	26,015	
前年度繰越金	588,316	588,316	0	
合計	913,335	887,320	26,015	

【支出の部】

(単位:円)

	決算	予算	増減	備考
事業費	123,429	130,000	△ 6,571	36総会69,391、37総会17,700 例会[104]8,628、[105]2,744、[106]14,106、 [108]1,870、[109]7,800、特) MUFG事業へ(1,190)
連絡費	107,201	80,000	27,201	郵送:36総会13,020、POLE 82,225、チラシ1,260、37総会 6,300、その他4,396
編集費	143,943	119,000	24,943	印刷:POLE [107]26,181、[108]16,246、[109]21,670、 [110]19,107、チラシ外8,461、特) 紙芝居へ(58,588)
会合費	15,045	6,000	9,045	運営委員会(3回)
事務費	63,411	15,000	48,411	インクカートリッジ、ラベル外
雑費	14,410	16,000	△ 1,590	ピウスツキ忌式花11,165、木村和保氏弔電3,245
予備費	0	521,320	△ 521,320	
小計	467,439	887,320	△ 419,881	
次年度繰越金	445,896	0	445,896	
合計	913,335	887,320	26,015	

○特別会計

【紙芝居】

(単位：円)

	収入の部	支出の部	備考
助成金	50,000		ポーランド広報文化センター
一般会計より	58,588		
製作費		108,588	印刷(105,288)、裁断(3,300)
合計	108,588	108,588	

【ポーランド・アイヌ祖霊祭】

(単位：円)

	収入の部	支出の部	備考
助成金	154,154		ポーランド広報文化センター(10万)、ピウスツキ博物館(54,154)
開催経費		150,000	出演料(林家とんでん平 5万、アマレヤ劇団 10万)
一般会計へ		4,154	残余金
合計	154,154	154,154	

【三菱UFJ銀行からの寄付によるプロジェクト(MUFG)】

(単位：円)

	収入の部	支出の部	備考
寄付金	500,000		三菱UFJ銀行より
一般会計より	1,190		
講演会開催経費		167,911	会場費(12,500)、講師外旅費・謝礼・原稿料(129,515)、チラシ・報告書印
図書・映像ソフト		278,359	ポーランド・アイヌ関係図書(124,635)、ポーランド映画ソフト(72,724)、
購入費			アイヌ関係映像ソフト(81,000)、
その他		54,920	消耗品(6,159)、郵送料(48,761)
合計	501,190	501,190	

【創立35周年記念演奏会】

(単位：円)

	収入の部	支出の部	備考
チケット売上	719,632		出演者(36万)、伴奏者(8万)、運営委員・会員(122千)、当日(46千)、プレイガイド(12万-手数料8,368)
助成金・広告料・寄付	200,000		道銀文化財団(4万)、ポーランド広報文化センター(5万)、札幌市民芸術祭事務局(8万)、カワイ楽器(1万)、ヤマハミュージック(1万)、寄付1名(1万)
交通費		207,000	出演者・講演者・舞台監督(11千×17人)、挨拶者・譜めくり(5千×4人)
会場使用料		200,305	舞台技術料・レセプション料(82,765)、施設+小リハーサル室使用料(29,300)、物件使用料(88,240)
ピアノ調律料		60,500	スタインウェイ2台+立会料
印刷費		64,400	チラシ6,000・チケット700・プログラム500印刷(32,070)、チラシ・チケット・プログラムデザイン(32,330)
その他		119,454	通信費(14,414)、雑費(10,440)、撮影記録費(30,000)、会議費(18,600)、打ち上げ補助(46,000)
演奏部会基金へ		267,973	
合計	919,632	919,632	

【演奏部会基金】

(単位：円)

	収入の部	支出の部	備考
前期繰越金	0		
特別会計より	267,973		特) 創立35周年記念演奏会
合計	267,973	0	

会計の監査にあたり、関係書類及び通帳を照合した結果、適正に処理されていることを確認しましたのでここに報告しま

2023年9月27日 監査委員 嵩文彦 印

2023年9月27日 監査委員 稲川和幸 印

2024年度 収支予算案 (自2023年9月1日～至2024年8月31日)

(単位:円)

【収入の部】	予 算	前年度決算	増 減	22年度決算	備 考
会費	229,500	256,000	△ 26,500	245,500	3千円×90人×85%
寄付金	50,000	64,860	△ 14,860	58,000	
雑収入	4	4,159	△ 4,155	5	貯金利子
小 計	279,504	325,019	△ 45,515	303,505	
前年度繰越金	445,896	588,316	△ 142,420	511,432	
合 計	725,400	913,335	△ 187,935	814,937	
【支出の部】					
事業費	100,000	123,429	△ 23,429	72,885	37総会4万、例会4回×1.5万
連絡費	55,000	107,201	△ 52,201	51,678	ポ一レ発送等(2.5万×2号)、その他5千
編集費	70,000	143,943	△ 73,943	68,548	ポ一レ(2万×2号)、チラシ・配布資料等3万
会合費	28,000	15,045	12,955	4,368	運営委員会 (7千×4回)
事務費	38,000	63,411	△ 25,411	13,124	用紙、文具、コピー、プリンターインク外
雑費	15,000	14,410	590	16,018	HP経費外
予備費	419,400	0	419,400	0	
小 計	725,400	467,439	257,961	226,621	
次年度繰越金	0	445,896	△ 445,896	588,316	
合 計	725,400	913,335	△ 187,935	814,937	

○特別会計

【108例会】 午後のポエジア2023.10.15 (助成金 予定) 50,000 ポーランド広報文化センター

【109例会】 トークショー「カティンの森のヤニナ」2023.11.05 (助成金 予定) 50,000 ポーランド広報文

【演奏部会基金】 前年度繰越金 267,973